



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 クニミネ工業株式会社

コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理部長

(氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,343	6.2	1,054	11.4	1,163	9.4	763	9.8
28年3月期第3四半期	8,799	0.6	946	0.9	1,062	△8.8	694	△2.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 783百万円 (21.7%) 28年3月期第3四半期 644百万円 (△29.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	57.10	—
28年3月期第3四半期	51.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,453	15,008	80.2
28年3月期	17,644	14,610	81.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 14,797百万円 28年3月期 14,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,568	2.5	1,397	△2.0	1,555	0.6	1,012	△1.9	75.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	14,450,000 株	28年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,261,577 株	28年3月期	1,061,577 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	13,368,423 株	28年3月期3Q	13,388,464 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 2
(4) 追加情報	P 2
4. 四半期連結財務諸表	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、設備投資は円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受けて回復ペースが鈍化しておりますが、鉱工業生産では内外需要の持ち直しや在庫調整の進展等を受けて増加しており、また、個人消費においても雇用者数の増加、物価上昇率の低下により実質雇用者所得が高い伸びを示し、景気は回復基調でありました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数に回復傾向がみられ、土木建築業界は、マイナス金利導入後の住宅ローン金利低下等を受けて新設住宅着工戸数で持ち直しがみられるなど、全体として回復基調にありました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、為替相場の影響を受ける原材料において価格変動を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、ベントナイト事業部門および化成品事業部門が増収増益でアグリ事業部門の減益を補い、売上高は93億43百万円（前年同期比 6.2%増）、営業利益は10億54百万円（同 11.4%増）となりました。経常利益は受取配当金が前期の96百万円から77百万円に減少したことや、為替差益が前期の0百万円から当期は17百万円に増加したこと等により11億63百万円（同 9.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億63百万円（同 9.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、商用車をはじめとする自動車国内生産台数が回復傾向にあることや、タイ国での売上が寄与したことにより、増収となりました。土木建築関係は、新設住宅着工戸数の持ち直しにより土木基礎向けの需要が増加したことや、地熱向けの需要も増加したことにより、増収となりました。ペット関係は、新規納入先の取り込みなどにより取扱量が増加し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は65億91百万円（前年同期比 5.5%増）、セグメント利益は9億8百万円（同 18.4%増）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、水稲用除草剤は需要の落ち込みがあり減収となりましたが、その他殺虫・殺菌剤および農薬向けベントナイト販売は好調に推移し増収となりました。しかし、前期に新設した設備の減価償却費の増加等により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は17億95百万円（同 2.5%増）、セグメント利益は3億28百万円（同 6.2%減）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルはクニピアが一般工業用途としての輸出向けや化粧品向けにおいて好調であったことや、環境保全処理剤および仕入商品の取扱量も増加したことにより全体として増収となりましたが、当期に新設した設備の減価償却費の増加等により利益率が低下いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は9億56百万円（同 19.9%増）、セグメント利益は1億17百万円（同2.1%増）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は堅調であり、概ね予想どおりに推移しておりますので、現時点におきましては前回発表（平成28年5月13日）の業績予想の変更はありません。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,734千円増加しております。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,395,429	3,692,250
受取手形及び売掛金	3,630,008	4,283,320
有価証券	1,340,687	1,388,779
商品及び製品	354,849	389,169
仕掛品	225,446	270,726
原材料及び貯蔵品	1,235,693	1,414,608
その他	182,506	94,864
貸倒引当金	△1,295	—
流動資産合計	11,363,326	11,533,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,489,537	1,734,923
機械装置及び運搬具(純額)	1,104,428	1,444,656
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	42,258	46,655
その他(純額)	91,968	76,747
有形固定資産合計	4,508,448	5,083,237
無形固定資産	137,453	115,423
投資その他の資産	1,635,357	1,721,581
固定資産合計	6,281,259	6,920,242
資産合計	17,644,586	18,453,960
負債の部		
流動負債		
買掛金	805,440	895,526
短期借入金	—	150,000
未払法人税等	350,358	219,113
賞与引当金	137,551	68,366
その他	737,521	1,062,035
流動負債合計	2,030,870	2,395,041
固定負債		
退職給付に係る負債	10,242	11,780
閉山費用引当金	495,244	500,560
資産除去債務	23,494	23,494
その他	474,125	514,519
固定負債合計	1,003,106	1,050,355
負債合計	3,033,977	3,445,397

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,794,107	2,794,107
利益剰余金	9,895,532	10,391,043
自己株式	△253,286	△371,286
株主資本合計	14,054,153	14,431,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,294	384,856
繰延ヘッジ損益	△31,121	—
為替換算調整勘定	76,219	△18,963
その他の包括利益累計額合計	318,393	365,893
非支配株主持分	238,061	211,005
純資産合計	14,610,608	15,008,563
負債純資産合計	17,644,586	18,453,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,799,326	9,343,285
売上原価	5,942,598	6,292,359
売上総利益	2,856,727	3,050,926
販売費及び一般管理費	1,910,498	1,996,780
営業利益	946,229	1,054,146
営業外収益		
受取利息	936	3,900
受取配当金	96,957	77,874
為替差益	248	17,599
貸倒引当金戻入額	990	1,383
その他	24,228	15,238
営業外収益合計	123,361	115,994
営業外費用		
支払利息	2,303	2,308
コミットメントフィー	2,214	2,230
その他	2,122	2,364
営業外費用合計	6,640	6,903
経常利益	1,062,950	1,163,237
特別利益		
固定資産売却益	2,771	8,499
特別利益合計	2,771	8,499
特別損失		
固定資産除却損	8,261	24,596
特別損失合計	8,261	24,596
税金等調整前四半期純利益	1,057,461	1,147,140
法人税、住民税及び事業税	309,868	335,339
法人税等調整額	38,899	36,223
法人税等合計	348,767	371,562
四半期純利益	708,693	775,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,704	12,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	694,988	763,279

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	708,693	775,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,271	111,562
繰延ヘッジ損益	△39,174	31,121
為替換算調整勘定	△5,218	△134,537
その他の包括利益合計	△64,664	8,145
四半期包括利益	644,028	783,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631,438	810,779
非支配株主に係る四半期包括利益	12,590	△27,056

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
減価償却費	376,745千円	444,075千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,250,482	1,751,143	797,700	8,799,326	—	8,799,326
セグメント間の内部売上 高又は振替高	50,032	—	47,570	97,603	(97,603)	—
計	6,300,515	1,751,143	845,270	8,896,929	(97,603)	8,799,326
セグメント利益	767,079	349,841	115,123	1,232,044	(285,815)	946,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 285,815千円には、セグメント間取引消去 1,265千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 331,355千円及び棚卸資産の調整額 44,275千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,591,443	1,795,719	956,122	9,343,285	—	9,343,285
セグメント間の内部売上 高又は振替高	50,932	—	56,920	107,852	(107,852)	—
計	6,642,376	1,795,719	1,013,042	9,451,138	(107,852)	9,343,285
セグメント利益	908,494	328,264	117,523	1,354,282	(300,136)	1,054,146

(注) 1. セグメント利益の調整額△ 300,136千円には、セグメント間取引消去 312千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 363,024千円及び棚卸資産の調整額 62,575千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。